

ASUS® Servers

ハードウェア リファレンス マニュアル

AP100 / AP200

AP2000 / AP2500 / AP3000

AP6000 / AP7500 / AP8000

AR1000

ご使用上の注意

このマニュアルは、このプロダクトおよびこの中に記述されたソフトウェアを含め、ユーザーのバックアップ目的を除いて、ASUSTeK COMPUTER INC.(以下ASUSと表記)の書面による承諾がない限り、このマニュアルの一部もしくは全部の転記、伝達、検索システムへの保存、もしくは、いかなる言語への翻訳をいかなる書式、形式において許可していません。

ASUSが提供するこのマニュアルは、特定の目的への適合、売買上の条件、もしくは特に制限のない暗示的な保証を含め、表記されているもしくはそれにより含まれる意味、全てにおける種類の保証をするものではありません。

このマニュアルもしくはプロダクトの欠陥もしくはエラーによって生じた直接的もしくは間接的な損害（利益損失の損害、ビジネス上の損害、使用もしくはデータ損害、仕事の中断もしくはそれに類する損害などを含む）においてASUSもしくはその役員、部長、従業員。代理店は責任を負わないものとする。

製品の保証やサービスは以下の場合、延長されません。

- (1) 製品のユーザによる修理、改造、変更が行われた場合。そのような修理ではない場合は、ASUSによる公認が示されます。
- (2) 製品のシリアル番号を変更したり、無くしたりした場合。

マニュアルに示されている製品名や会社名は、それらの所有する登録商標もしくは著作権である場合がありますが、その製品もしくは会社の利益、説明、識別のみを目的に使用しており、登録商標や著作権の侵害の意思はありません。

製品名とそのリビジョン番号は、両方ともその製品自体に印刷されます。マニュアルのリビジョンはそれぞれの製品デザインのリリースにあわせてその前と後間のマニュアルリビジョン番号の数字で表記されます。マニュアルの更新はマニュアルリビジョン番号の3番目の桁に表記されています。

ひとつ前か、もしくは更新されたマニュアルの為のBIOS、ドライバー、もしくは製品情報を以下のASUSのページを通して連絡をとってください。

<http://www.asus.com.tw>

このマニュアルに、含まれている仕様及び情報は、情報としての使用に限ります。また、その内容は、予告なしに変更される場合があり、その責務はASUSにありません。

もし、このマニュアルにエラーや誤りが表記されていた場合。その中に表記される製品やソフトウェアも含み、ASUSはその責任もしくは責務を負いません。

Copyright © 1999 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

製品名：	ASUS Servers
マニュアルバージョン：	1.00 J410
発行日：	1999年7月

ASUSへの連絡

ASUSTek COMPUTER INC. (アジア地域)

マーケティング

所在地 150 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 112
電話 +886-2-2894-3447
FAX +886-2-2894-3449
Email info@asus.com.tw

テクニカルサポート

MB/Cards (電話) +886-2-2890-7121 (英語) +886-2-2890-7111 (中国語)
Notebook (電話) +886-2-2890-7122 (英語) +886-2-2890-7112 (中国語)
Server (電話) +886-2-2890-7123 (英語) +886-2-2890-7113 (中国語)
FAX +886-2-2895-9254
Email tsd@asus.com.tw
News news2.asus.com.tw
WWW www.asus.com.tw
FTP ftp.asus.com.tw/pub/ASUS

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

マーケティング

所在地 6737 Mowry Avenue, Mowry Business Center, Building 2
Newark, CA 94560, USA
FAX +1-510-608-4555
Email info-usa@asus.com.tw

テクニカルサポート

FAX +1-510-608-4555
BBS +1-510-739-3774
Email tsd@asus.com
WWW www.asus.com
FTP ftp.asus.com/pub/ASUS

ASUS COMPUTER GmbH(ヨーロッパ)

マーケティング

所在地 Harkort Str.25, 40880 ratingen, BRD, Germany
電話 MB/Other +49-2102-9599-0 Notebook +49-2102-9599-10
FAX +49-2102-9599-11
Email info@asuscom.de

テクニカルサポート

ホットライン MB/Other +49-2102-9599-0 Notebook +49-2102-9599-10
Email tsd@asuscom.de
WWW www.asus.com.de
FTP ftp.asuscom.de/pub/ASUSCOM

目次

I. はじめに

- 1-1. ASUSサーバシリーズ概観 7
- 1-2. 必要な器具 7

II. コンポーネント

- 2-1. AS-10 タワーシャーシの開け方 8
 - フロントパネル 8
 - サイドパネル 8
 - スタビライザ 8
- 2-2. AS-30 / D-30 タワーシャーシの開け方 9
 - トップパネルの開け方 9
 - サイドパネルねじ 9
 - 右側面パネルの外し方 9
 - 左側面パネルの開けかた 9
- 2-3. AS-50 タワーシャーシの開け方 10
 - サイドパネル 10
 - 左側面パネルの開け方 10
- 2-4. LED 表示について 11
 - AS-10のLED 11
 - AS-30 / D-30のLED 11
 - AS-50のLED 11
- 2-5. シャシ内部センサ 12
 - シャシ内部スイッチ(AS-30 / AS-50) 12
 - 光検出センサ(AS-10) 12
- 2-6. ホットスワップ ファン(AS-30のみ) 13
 - ホットスワップ ファンモジュール 13
 - ファンコントロールボード 13
 - HDD メッセージ LED ボード 13
- 2-7. シャシファン(AS-30のみ) 14
 - シャシファンコントロールボードの設定 14
- 2-8. DA-BP4 SCSI バックプレーンボード 15
 - 2-8-1. DA-BP4 SCSI ID 設定 16
 - SCSI バックプレーンボードを別に使用する場合 16
 - SCSI バックプレーンボードをカスケード接続する場合 17
- 2-9. DA-BP5 SCSI バックプレーンボード 18
 - 2-9-1. DA-BP5 SCSI ID 設定 19
 - SCSI ID ディップスイッチ 19
- 2-10. ホットスワップトレイ(DA-BP4用) 20
 - トレイの前面接続 20
 - インターフェイス 20
- 2-11. ホットスワップトレイコネクタボード(AS-50) 21

目次

トレイの背面接続	21
2-12. ホットスワップHD モジュール(DA-BP5)	22
ホットスワップファンとベイの取り外し	22
III. 付録	
その他ASUS 製品紹介	23
ASUS DA3000 SCSI-to-SCSI RAIDコントローラ	23
ASUS PCI-DA2100/2200 シリーズ SCSI RAID カード	23

(このページは、ブランクページです。)

1. はじめに

このハードウェアリファレンスガイドは、さまざまなASUSサーバシリーズの一般的な情報とその手順を示してあります。あなたのサーバと別に御買い求めになったパーツの全てのドキュメントとマニュアルも御読みください。


このガイドは、パーソナルコンピュータのハードウェア知識のある、経験者もしくはシステムインテグレータ向けに作成してあります。このリファレンスガイドに示されているいくつかのコンポーネントは、オプションもしくは、このサーバを完成させる為に個々に購入していただくものです。

1-1. ASUS サーバシリーズ概観

以下に示した表は、ASUSサーバシリーズの概観を示したものです。この表をあなたのサーバ設定のインデックスとしてご使用下さい。そして、インストールの詳細手順をリファレンスガイドの対応セクションを参照してください。

モデル	シャーシ	Mother-board	SCSI Backplane	Hot-Swap Tray	Fixed Storage Device
AP100	AS-10	P2B-S	---	---	3.5" x4, 5.25" x3
AP200	AS-10	P2B-D	---	---	3.5" x4, 5.25" x3
AP2000	AS-30	P2B-DS	DA-BP5	1.6" x3 or 1.0" x5	5.25" x4
AP2500	AS-30	P2B-D2	DA-BP5	1.6" x3 or 1.0" x5	5.25" x4
AP3000	AS-30	XG-DLS	DA-BP5	1.6" x3 or 1.0" x5	5.25" x4
AP6000	AS-50	P2B-DS	DA-BP4	1.6" x8	5.25" x4
AP7500	AS-50	P2B-D2	DA-BP4	1.6" x8	5.25" x4
AP8000	AS-50	XG-DLS	DA-BP4	1.6" x8	5.25" x4
AR1000	D-30	DA3000	---	1.6" x6 or 1.0" x10	5.25" x1

1-2. 必要な器具

 サーバのコンポーネントをインストールしたり、外したりする場合に、プラス (+) とマイナス (-) タイプのドライバー (ねじ回し) が必要です。

II. コンポーネント

2-1. AS-10タワーシャーシの開け方



4本の指を使ってフロントパネルの裏からゆっくり引っ張ります。

フロントパネル

デバイスゲージにマウントされているデバイスを外したり、ゲージにデバイスを取り付けたりする際にフロントパネルを外さなければなりません。フロントパネルは、左の図のようにして外すことができます。フロントパネルの底の部分もしくは端の部分（横にしてご使用の場合）を傾けます。そして、フロントパネルの中に指を入れて、引っ張ると、フロントパネルを外すことができます。

サイドパネル

マシン内部にアクセスする為には、サイドパネルも外さなければなりません。

サイドパネルの外し方

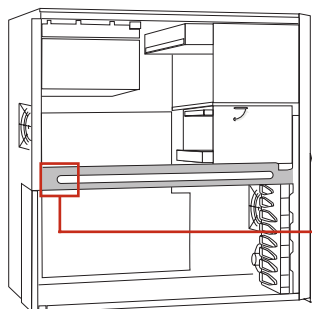
- 1.まず、鍵（南京鍵など）を使用している場合はそれを外します。
- 2.サイドパネルの背面にあるねじを外します。
- 3.サイドパネルを後ろから引いて外します。
- 4.底の部分の突起からサイドパネルを外し引いて外します。



サイドパネルの外し方（ステップ3）

スタビライザー バー

スタビライザーは、マザーボードや3.5インチデバイスのゲージを外す場合に外さなければなりません。

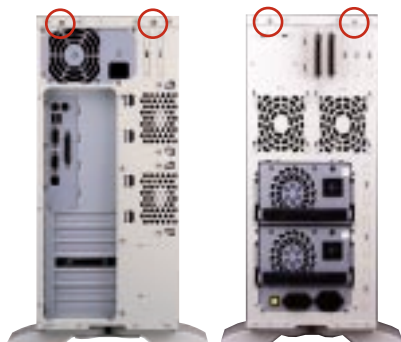


シャーシ内部

ここをつかんで、外に向かって引く

II. コンポーネント

2-2. AS-30/D 30 タワータイプの開け方

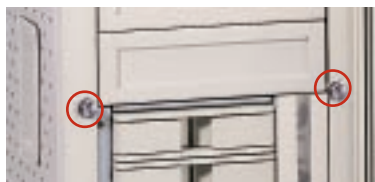


AS-30 シャシー D-30 シャシー

トップパネルの取り外し
トップパネルは、ケースの背面にある2つのねじで、保護されていますので、トップパネルを開ける場合、これらのねじをドライバーで外してください。



NOTE: 左側のパネルを開けるだけの場合は、トップパネルを外す必要はなく、ラックマウントレールを取り付けるときなどに外します。



サイドパネルスクリュー

サイドパネルは、フロントパネルにある2つの大きめのねじによってとめられています。このねじは手で回して外すことができます。



右側のパネルの外し方

右側のパネルを外すには、まずフロントドアのヒンジスプリングを押し下げて外します。

ラックマウントシャシーなどを取り付けたい場合にもフロントパネルを外すことが必要になります。



パネルを手前に引く

左側のパネルの開けかた

シャシーには両側に同一のサイドパネルがあります。左側のパネルを開けるには（左の写真を参照下さい）サイドパネルのねじを外して、パネルのハンドルを外側に引きながら、パネルをスライドさせてください。右側のパネルを外すには、まず、フロントドアを外してください。

II. コンポーネント

2-3. AS-50タワーシャーシの開け方



サイドパネル

シャーシの両側に同じレイアウトのパネルがあります。それぞれのパネルは2つのねじ（写真の部分）とCAMで保護されています。

左側のパネルの開け方

CAMには回転式のノブがあり、それ自身がキーロックの役割をしています。

これを、反時計回りの方向に回すとパネルは外れ、時計回りにまわすと固定されます。キーロックは部外者の使用を防ぐ為に使われます。

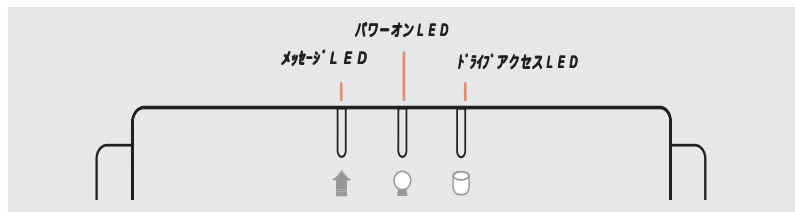


II. コンポーネント

2-4. LED表示

AS-10のLEDについて

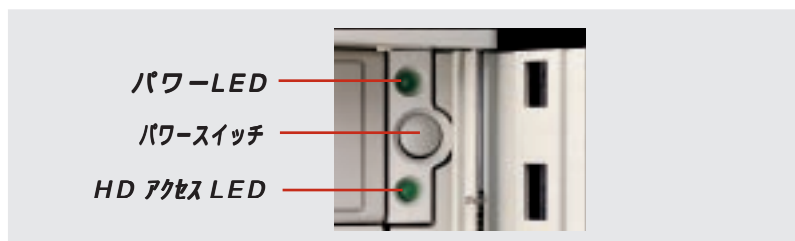
フロントパネル上部に3つのグリーンLEDがあります。



AS-10フロントパネルLEDインディケーター

AS-30/D-30のLEDについて

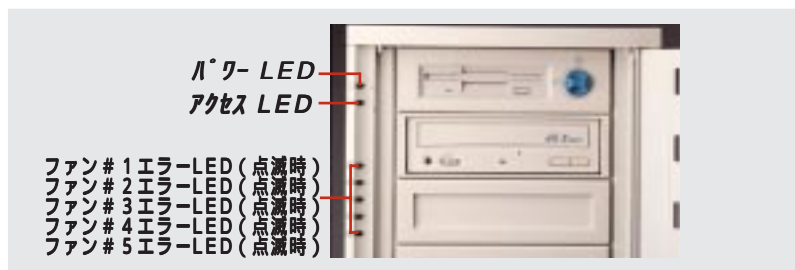
フロントパネルの上部右側に2つのLEDがあります。



AS-30/D-30フロントパネルLEDインディケーター

AS-50のLEDについて

フロントパネルの上部左端にLEDがあります。内容は以下の通り。



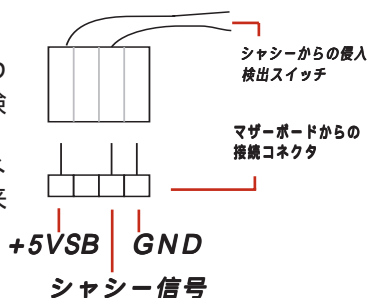
AS-50フロントパネルインディケーター

II. コンポーネント

2-5. シャシー インストラクション センサー

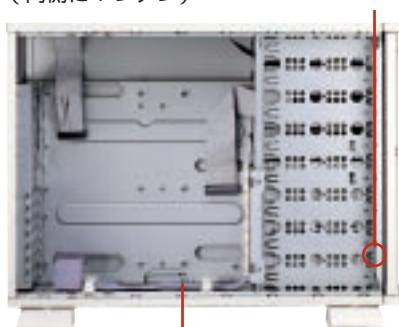
シャシー侵入スイッチ (AS-30/AS-50)

シャシーには、マザーボードとつないで、シャシー内部の侵入を検出するスイッチがついています。ASMAソフトウェアはサイドパネルの開閉をモニタすることが出来ます。



AS-30シャシーの左側

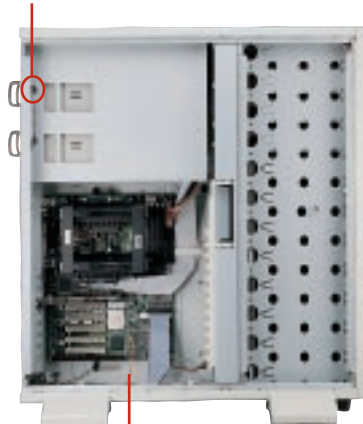
シャシー侵入スイッチ
(両側に1つずつ)



シャシー侵入シグナルケーブル

AS-50シャシーの左側

シャシー侵入スイッチ
(両側に1つずつ)



シャシー侵入シグナルケーブル

光検出センサ (AS-10)

オプションで、光検出センサを付けることにより、シャシーの開閉をモニタすることが出来ます。マネジメントソフトを使用することにより、マザーボード上のハードウェアと連動して、警告を発したり、ログを取ったりすることが可能です。

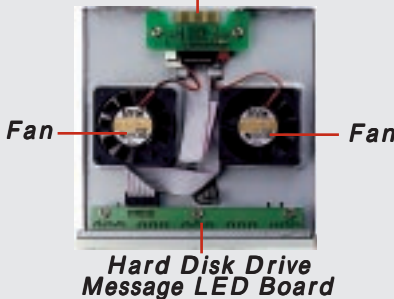
II. コンポーネント

2-6. ホットスワップ ファン (AS-30 のみ)

ホットスワップファンモジュール
ホットスワップモジュールは、コン
トロールボード、HDD LEDボード
と2つの冷却ファンによって構成さ
れています。

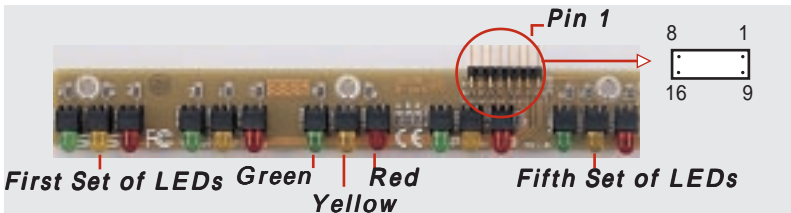
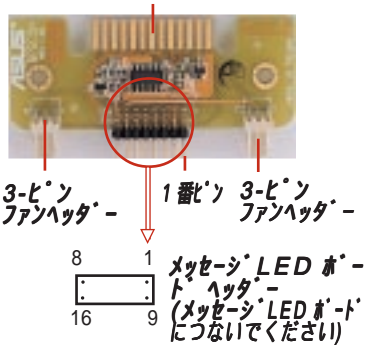
メッセージLEDボードは、冷却ファン
モジュールの前面にあり、5つの
LEDで構成されており、5つまでの
HDDの状態をあらわします。

Front Cooling Fan Control Board



ファン コントロール ボード
ケーブルをホットスワップファンコ
ントロールボードとHDDメッセ
ージLEDボードにつなぎます。それぞ
れのケーブルは、赤色のケーブルを
1番ピンにつなぐようにしてくださ
い。

SCSIバックプレーンボードにつなぐ。



HDD メッセージLEDボード

ケーブルの赤い端を1番ピンにさしてください。

LEDメッセージの内容

イエロー：HDDアクセス

グリーン：パワーLED

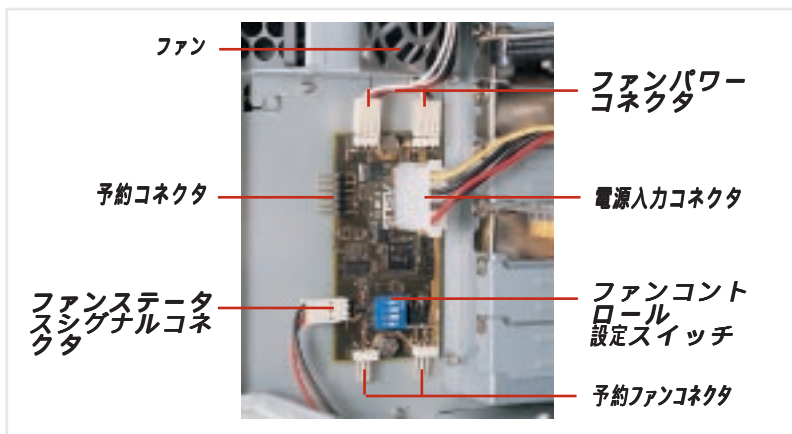
LEDレッド：HDDステータスLED

(Power LED) パワーLED	(Status LED) ステータスLED	(Description) 内容
OFF	OFF	ハードウェアシステムOK, HDD挿入準備完了
ON	OFF	HDD使用準備完了
ON	ON	HDD認識失敗(*)
ON	速い点滅	RAID再構築(*)
ON	おそい点滅	スペアドライブ準備完了(*)
速い点滅	ON	HDD認識失敗/回路ショート
速い点滅	速い点滅	ファン異常

* RAIDコントローラにSAF-T E機能があり、それを使用している場合

II. コンポーネント

2-7. シャシーファン (A S - 30のみ)



ファンコントロールボードのケーブル接続

シャシーファンコントロールボードの設定

ファンコントロールボードにあるディップスイッチはコントロールボードの状態や、何個のファンを制御するかを設定できます。

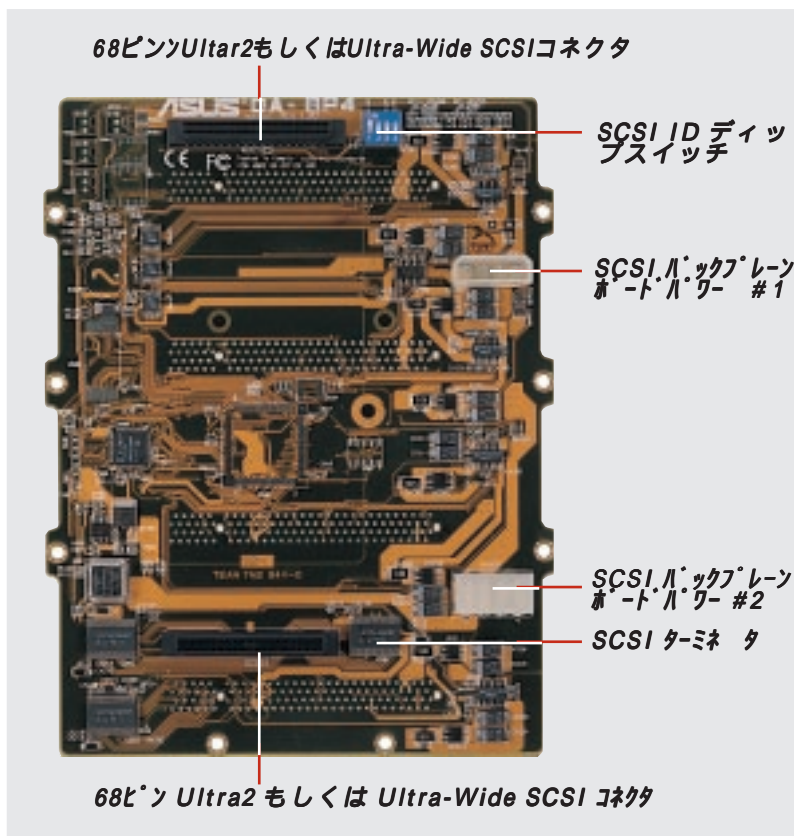
ディップスイッチ1	ファンコントロールボードの設定
ON (瞬時)	コントロールボードのリセット
OFF	通常 (初期設定)

スイッチ2	スイッチ3	スイッチ4	ファンの数
ON	ON	ON	1
ON	ON	OFF	2 (初期設定)
ON	OFF	ON	3
ON	OFF	OFF	4
OFF	ON	ON	5
OFF	ON	OFF	6
OFF	OFF	ON	7
OFF	OFF	OFF	8

II. コンポーネント

2-8. DA-BP4 SCSIバックプレーンボード

AS-50サーバのSCSIバックプレーンボードは、68ピンのSCSIコネクタ。電源入力、SCSI IDディップスイッチから成るセット2つで構成されています。この、構成はUltra2もしくはUltra-Wide SCSIのHDDをサーバの内部に取り付けることができます。

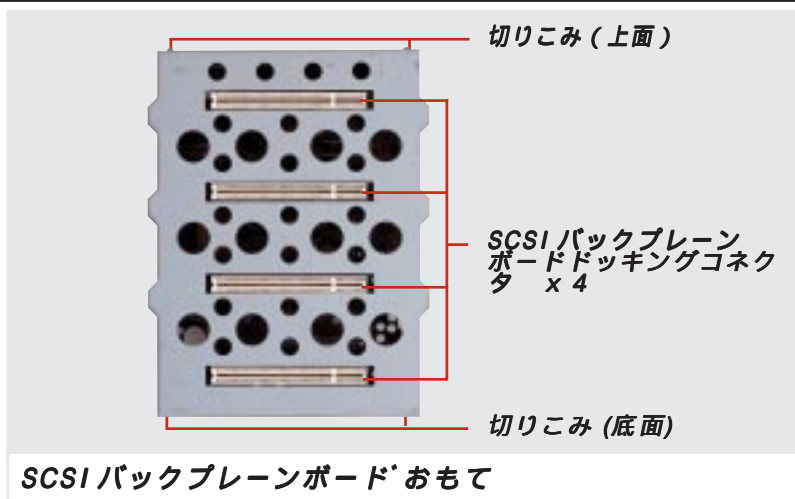


DA-BP4 SCSI バックプレーンボード 背面

重要

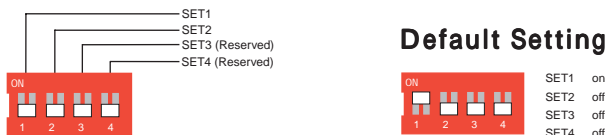
DA-BP4 SCSIバックプレーンボードは、自動的にターミネーションを行います。もしも、Ultra-Wideの機器を使用する場合は、全ての機器のターミネーションを切っておいてください。

II. コンポーネント



2-8-1. DA-BP4 SCSI ID 設定

0 から 15 までの 16 通りの ID 番号が設定可能です。SCSI ID の設定は、SCSI バックプレーンボード上のディップスイッチで設定できます。



SCSI バックプレーンボードを別々に使用する場合、それぞれのスロットで、使用するハードドライブの SCSI ID は、SCSI ID ディップスイッチで決定されます。スイッチは 2 つの SCSI ID を設定しますので、それぞれに個々の ID を振り分けることは出来ません。いかに示す表は、スイッチによって SCSI ID がどうなるかを示したものです。

SCSI バックプレーンボードを別々に使用する場合の SCSI ID 設定 (SET2 は常に OFF)

スイッチ1	スロット0	スロット1	スロット2	スロット3
ON	ID0	ID6	ID8	ID12
OFF	ID1	ID5	ID9	ID13

II. コンポーネント

SCSIバックプレーンボードをカスケードを使用する場合

もしも、5台以上のハードドライブをホットスワップベイにインストールする場合、2枚のSCSIバックプレーンボードが必要になります。2チャンネルSCSIコントローラはソフトウェアRAIDもしくはハードウェアRAIDをとおして、2つ別々のセットのハードドライブをコントロールできます。カスケードされたSCSIバックプレーンボードは、SCSIコントローラの1チャンネルだけで、コントロールすることが出来ます。

セパレート設定



SCSIコントローラ
へ接続

Top (BP4-1)

(68ピン SCSI)
BP4 カスケードケーブル

SCSIコントローラCH2へ
接続 (もしくは他のコ
ントローラ)

Bottom (BP4-2)

自動ターミネーション
(ターミネーターの必要はあ
りません)

カスケード設定



カスケード設定を使用する場合、上部のSCSIバックプレーンボードはBP4-1として認識され、底部のSCSIバックプレーンボードはBP4-2として認識されますが、物理的な違いはありません。上部のSCSIバックプレーンボードに接続されたハードドライブは、2通りのSCSI ID設定からの選択が可能です。底部のバックボードプレーンボードに接続された、ハードドライブは1セットのSCSI IDしかありません。

カスケード接続バックプレーンボードのSCSI ID設定

ボート	スイッチ1	スイッチ2	スロット0	スロット1	スロット2	スロット3
上部	ON	OFF	ID0	ID6	ID8	ID12
上部	OFF	OFF	ID1	ID5	ID9	ID13
底部	ON/OFF	ON	ID3	ID4	ID10	ID11

II. コンポーネント

2-9. DA-BP5 SCSIバックプレーンボード

AS-30のSCSIバックプレーンボードは、Ultra2 SCSIコネクタ、電源入力、SCSI IDディップスイッチを搭載したSCSIバックプレーンボード(DA-BP-5)を搭載しています。このボードは、Ultra2のSCSI、SCAハードディスクドライブをサーバ内部に取り付けることができます。このSCSIバックプレーンボードは、自動ターミネーション機能がありますので、コネクタの終端にはターミネーターを付けてください。

SCSIバックプレーンボードおもて

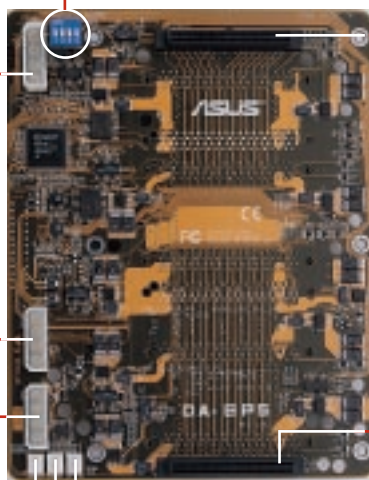
電源3
Connector

電源2
Connector

電源1
Connector

SMB出力

ファンコネクタ
SMB入力



このコネクタは、ケーブルを通じて、Ultra2SCSIデバイスにつなげるか、もしくはターミネートされません。

このコネクタは、ケーブルを通じて、Ultra2SCSIデバイスにつなげるか、もしくはターミネートされます。

SCSIバックプレーンうら

1.6インチトレイ
コネクタ

1.6インチトレイ
コネクタ

1.6インチトレイ
コネクタ

1インチトレイ
コネクタ

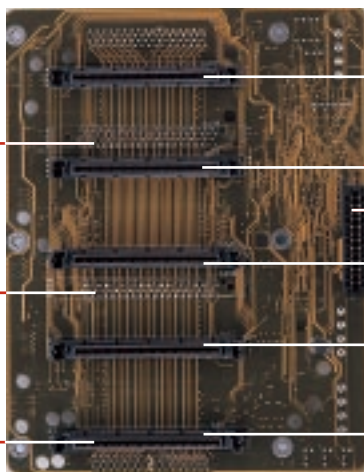
1インチトレイ
コネクタ

ファンコントロールボ
ードコネクタ

1インチトレイ
コネクタ

1インチトレイ
コネクタ

1インチトレイ
コネクタ



II. コンポーネント

2-9-1. DA-BP5 SCSI ID 設定

SCSIボードの4つのディップスイッチは、ハードドライブのパワーオンディレイとSCSI IDの設定を行います。

SCSI ID 設定

IDSEL1	IDSEL0	Slot1	Slot2	Slot3A/3B	Slot4	Slot5A/5B
off	off	予約				
on	on	15	12	11	8	3
on	off	14	9	6	4	1
(*) off	on	13	10	5	2	0

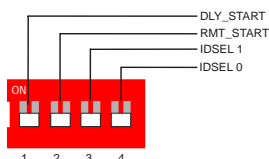
(*) 初期設定

HDDパワーオンディレイ

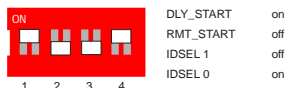
RMT_START	DLY_START	内容
off	off	電源Onですぐにスピニングアップ
on	off	スタートユニットコマンドを待ってスピニングアップ
(*) off	on	SCSI ID x 12ms待って、スピニングアップ
on	on	予約

(*) 初期設定

SCSI ID ディップスイッチ







Default setting



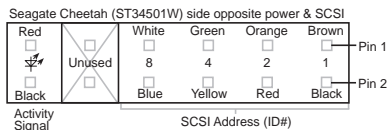
	IDSEL1	IDSEL0	Slot1	Slot2	Slot3A	Slot4	Slot5A
 IDSEL 1=off IDSEL 0=off	off	off	Resv.				
 IDSEL 1=on IDSEL 0=on	on	on	15	12	11	8	3
 IDSEL 1=on IDSEL 0=off	on	off	14	9	6	4	1
 IDSEL 1=off IDSEL 0=on	off	on	13	10	5	2	0

II. コンポーネント

SCSI ID ディップ スイッチ (続き)

	IDSEL1	IDSEL0	Slot1	Slot3B	Slot5B
 ON IDSEL 1=off IDSEL 0=off	off	off	Resv.		
 ON IDSEL 1=on IDSEL 0=on	on	on	15	11	3
 ON IDSEL 1=on IDSEL 0=off	on	off	14	6	1
 ON IDSEL 1=off IDSEL 0=on	off	on	13	5	0

2-10.ホットスワップ° トレイ (DA-BP4)



ホットスワップトレイの前面接続について

ホットスワップトレイは、アクティビティLED、パワーLED、SCSI ID、電源、SCSI信号への接続を提供しています。8ピンのコネクタをSCSIアドレスピンにそのケーブルの色に従って接続します。2ピンのコネクタをアクティビティシグナルピンに、色に従ってつなぎます。

ホットスワップトレイ インターフェイス

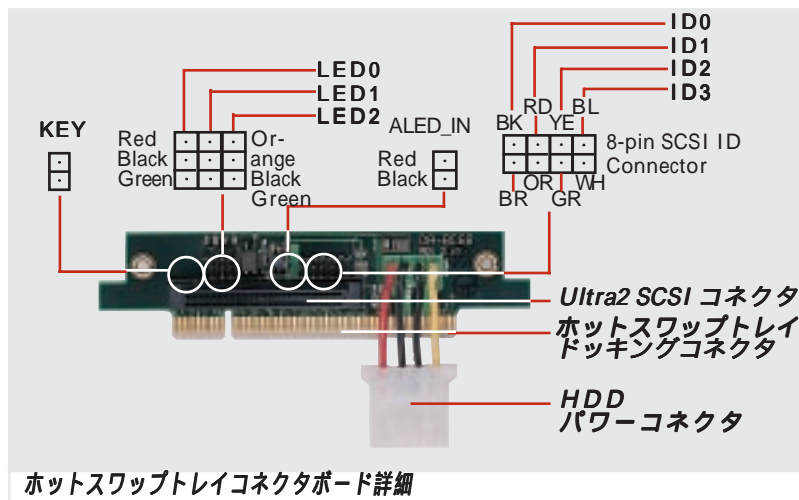
ホットスワップトレイの前面には、電源を入れるためのキーロックがあり、そのキーロックは、その他に、電源オフ、ハンドルのロック、ハンドルロックの解除の機能があります。また、2つのLEDは、電源状態とHDDの状態を表しています。



II. コンポーネント

2-11.ホットスワップトレイコネクタボード (DA-BP4)

ホットスワップトレイにマウントされているコネクタボードは、シャシーの中のSCSIバックプレーンボードとのインターフェイスです。そのコネクタボードは、全ての信号とドッキングコネクタの電源をホットスワップユニットにおくります。



ホットスワップトレイコネクタボード詳細

ホットスワップトレイ 背面の接続

KEY: これらの2ピンをトレイの前面パネルのキーロックにつなぎます。これにより、ドライブのパワーオン/オフが出来ます。

LED0: これらの3ピンをトレイの前面パネルのHDDアクセスLEDにつなぎます。これにより、いつHDDがデータにアクセスしているかわかります。

LED1: (予約)

LED2: これらの3ピンをトレイの前面パネルのパワーLEDにつなぎます。これにより、コネクタボードが電源を供給されていることがわかります。

ALED_In: これらの2ピンをハードドライブ背面のハードドライブアクセスLEDにつなぎます。これにより、いつHDDがデータにアクセスしているかわかります。

SCSI_ID: これらの8ピンをハードドライブのSCSIアドレスピンにつなぎます。これにより、ハードディスクドライブのSCSI ID番号が設定されます。

ホットスワップドッキングコネクタ: SCSIバックプレーンボードにつなぎます。

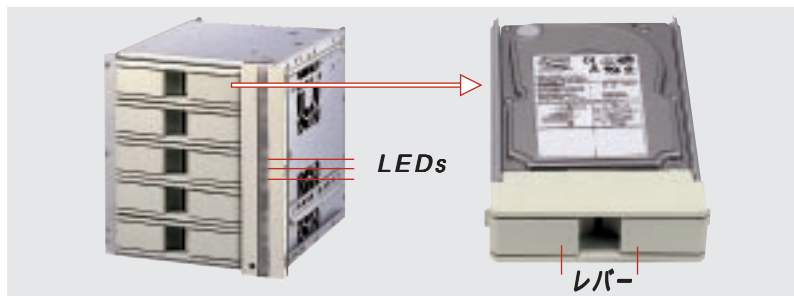
HDDパワーコネクタ: HDDにつなぎます。

68ピンSCSIコネクタ: ハードドライブの68ピンSCSIコネクタにつなぎます。

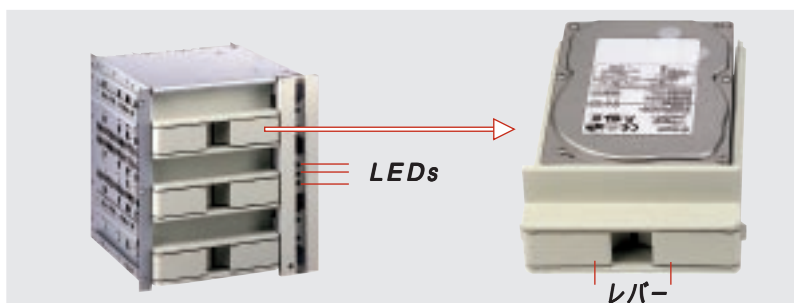
II. コンポーネント

2-12. ホットスワップハードドライブモジュール(DA-BP5)

ホットスワップベイには2つのモデルがあります。：5トレイ・ホットスワップベイと3トレイ・ホットスワップベイです。1.0インチSCAホットスワップベイは、5台の1.0インチのHDDが収容できます。1.6インチのSCAホットスワップベイは3台の1.6インチもしくは1.0インチのHDDが収容できます。



ホットスワップベイ(5トレイ)



ホットスワップベイ(3トレイ)

重要

ホットスワップトレイは80ピンのSCA SCSI HDDのみのサポートしています。

ホットスワップファンとベイの外し方

小さめのねじ回しで、イジェクトメカニズムを押します。次に下に示した部分の6個の固定ねじを外します。



III. Appendix

その他のASUS製品

ASUS DA3000 SCSI-to-SCSI RAID コントローラ

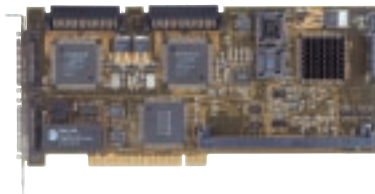
for AR1000 RAID Subsystem

- 5x86-133 RAIDプロセッサを使用
- Ultra2/Ultra-Wide SCSIデバイスインターフェイスをサポート
- インテリジェント リードアヘッド/ライトバックキャッシュを最大128MBまで搭載可能
- 最大3 Ultra2 SCSIチャンネルをサポート
- 最高80MB / 秒のデータ転送をサポート
- 6つのモード：RAID無し、RAIDレベル0,1,0+1,3,5
- 不良セクタの自動再割り当て
- バックグラウンド再構築
- グローバル、ローカルでの、スベアドライブ操作。
- 最大5ドライブチャンネルまで増設可
- 最大8論理ドライブ（それぞれ独立したモード）まで設定可
- 状態表示と設定の為にLCDパネルとRS 232インターフェイスを装備
- 使いやすい、テキストもしくはGUIによるマネジメントツール



ASUS PCI-DA2100/2200シリーズ SCSI RAID CARD

- 4x86 DX4-100プロセッサをサポート (PCI-DA2100シリーズ)
- 5x86-133プロセッサをサポート (PCI-DA2200シリーズ)
- 72ピンSIMM x 1スロットにより最大64MB (DA2100)/128MB (DA2200)までのEDO RAMをインテリジェントリードアヘッド/ライトバックとして搭載可能。
- RAID無し、RAIDレベル0,1,0+1,3,5をサポート
- デュアルUltra Wide SCSIチャンネルをサポート (PCI-A2100A)
- シングルUltra2 SCSIチャンネルをサポート (PCI-DA2200A)
- デュアルUltra2 SCSIチャンネルをサポート (PCI-2200B)
- 不良セクタの自動再割り当て
- バックグラウンド再構築
- グローバル、ローカルでの、スベアドライブ操作。
- PCI rev.2.1準拠
- GUIとテキストによるRAIDマネージャーインターフェイス



III. Appendix

(このページはブランクページです。)